

加東市の農業

佐々木悠里・田辺勇真・當玄安那・山本祥吾

キーワード：農業，流通，販売，山田錦，加東市

1. はじめに

加東市は、兵庫県中央部に位置する市である。市の西側には兵庫県を縦断する加古川が流れ、北側には三草山がそびえる。東側には灌漑用に建設された鴨川ダム及び東条湖があり、兵庫県の北播磨地域の農業を支えている。

加東市では、山田錦のような酒米が多く作られている。地図上で見てもわかるように、加東市の土地利用は田畑が大半を占めている。しかし、その農作物がどこでどのくらい消費されているのかはあまり知られているように思えない。そこで本研究では、加東市の農業ではどのようなものがどのくらい生産されているのかを調査したのちに、その農作物がどのような場所へ流通しどのように販売されているのかをまとめる。

2. 加東市の農業の概要

加東市の主な農作物は米、核果類（桃）、茶、いも類、なす科果菜類（なす）である。米は主に「山田錦」をはじめとする酒米である。山田錦は良質な酒米としての条件を満たし酒造家からの高い評価を得ており、加東市の特産物として知られている。図1で見られるように、大手酒造会社で日本酒の原料として使用され、その日本酒は数々の賞を受賞している。山田錦は特別な条件の下でしか生産することができない。六甲山地の北側の谷あいから北播磨にかけての山間地で、昼夜の気温差が大きく、水はけのよい階段状のいわゆる棚田地帯が好適地とされており、加東市東条地域はこれらの条件が整っている。山田錦は他の品種に比べ、茎が長いと倒伏しやすく、また収量性も低いとため、高度な栽培技術が必要とする。

水稻の作付面積と収穫量の推移は、共に2008年から2010年にかけては減少傾向であったものの、2010年以降は右上がりとなり、2018年には2006年を上回っている。

桃は、加東市内で生産されたものを「やしろの桃」としてブランド化し、加東市社周辺で多く栽培されている。やしろの桃を栽培する加東市内の古跡農園によると、やしろの桃は加東市上久米地域の人々によって栽培が始まった。古跡農園では、糖度が15度以上のものをやしろの桃として販売している。やしろの桃には、日川白鳳、白鳳、清水白桃の3つの品種があり、それぞれの販売期間は異なる。

茶は、「播磨やしろ茶」が有名である。加東市社町では昭和52年から茶葉の栽培が始まり、現在では9人の生産者によって大切に育てられている。新芽を摘んですぐにJAの製茶

工場で加工することで、播磨やしろ茶のもつ香りを保ったまま商品化することができている。

いも類は、ヤマノイモ（山の芋）が有名であり、主に加東市東条地域で盛んに栽培されている。スーパーで売っているような長いものは異なり、強い粘り気があることが特徴である。栄養分が豊富で、美容や滋養強壮に効果がある。

なすは、「滝野なす」が有名である。河内郁子氏によると、滝野なすは、加東市滝野で昭和52年に転作をきっかけとして栽培が始まった。なすの栽培に欠かせない日照と水だけでなく、日中の寒暖差のバランスが適していたことが成功の要因である。



写真1 加東市にみられる棚田

出所：加東市秘書室広報広聴係より引用（2020年12月30日アクセス）



図1 山田錦を使用した日本酒

出所：白鶴酒造株式会社ホームページより引用（2020年12月30日アクセス）

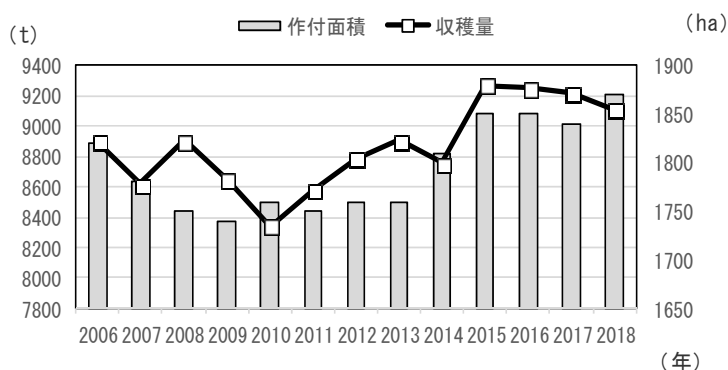


図2 加東市の水稲における作付面積と収穫量の推移（2006年～2018年）
出所：加東市統計書（2020年）より作成

3. 加東市の農作物の流通と販売

日本全体での日本酒の輸出量は年々増加しており、2015年には全体の輸出量の3.2%を日本酒が占めている。また、輸出金額も輸出量に比例して増加傾向にあり、その輸出先は香港や中国などの東アジアだけでなく、アメリカにも及んでいる。世界的な日本食ブームによって、日本を代表する酒である日本酒が注目されていることが要因とされている。

兵庫県全体では、日本酒の原料である酒米として有名な山田錦の出荷量が日本全体の約59%を占める21,981 tである。全国543の酒造会社に出荷され、日本中の人々が山田錦を使用した日本酒を嗜むことができる。

加東市の農作物を代表する山田錦は、県の内外を問わず全国に流通している。特に、出荷先の蔵元は兵庫県内が最多であるものの、東北地方の宮城県では11場、四国地方の愛媛県で9場、高知県で7場という出荷実績をもっている（図3）。兵庫県内では加西市や三木市といった酒蔵にも流通しており、地産地消もされている。

桃は地元農園、直売所、道の駅などで販売されており、地元の人々だけでなく県の内外からの観光客も買うことができる。また、古跡農園ではネット通販も行っており、朝採りの桃を即日発送し、全国でやしろの桃を味わうことができるようになっている。

4. おわりに

本研究では、加東市の農業と農作物の流通や販売状況について調査した。その結果、加東市の農作物は、加東市特有の地形が生み出す独特の気温や日照、水などの条件によって栽培されており、それらは地元だけでなく全国規模で販売されていることがわかった。

調査の中では、農作物に関する具体的な統計を使うことができた。加東市統計書をはじめ、加東市では農業に関する情報がホームページをはじめとして多く載せられている。このことから、加東市が県内外の人々に向けて、農作物を推進していているという事がわ

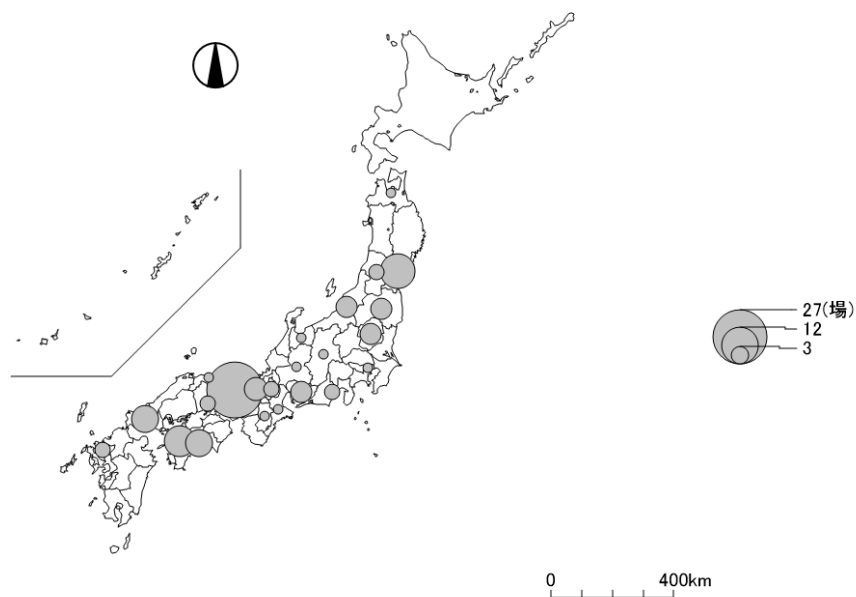


図3 加東市産山田錦の全国出荷実績（蔵本数）

出所：加東市より作成

かる。特に山田錦に関する情報は市だけでなく東条地域といったさらに絞り込んだ地域のホームページにもあり、さらに深みのある情報を発信していた。

しかし、今年は新型コロナウイルスが流行した影響もあり、農家やJAを訪問しての詳しい統計情報を得ることができなかった。山田錦を栽培する上での加東市ならではの手法や、費用と売上の実態等、市の統計だけではわからない独自の統計を得ることができれば、より加東市に焦点を絞った調査ができたのではないかと考える。

参考 URL

加東市：「加東市統計書」，

https://www.city.kato.lg.jp/material/files/group/13/202003_katousitoukeisyo.pdf

(2020年12月19日アクセス)

加東市：全国に誇る加東市産山田錦，

<https://www.city.kato.lg.jp/jigyoshanyusatsujoho/nogyo/1531790525163.html> (2020年12月19日アクセス)

河内郁子 (2016年)：【兵庫県】美味しい秋茄子！加東市特産「たきのなす」の和風アレンジ，「まつのベジフルサポータージャーナル」，<http://blog.matuno.co.jp/archives/1060843970.html>

(2020年12月30日アクセス)

古跡農園：古跡農園ホームページ, <https://www.koseki-peachfarm.com/> (2020年12月30日アクセス)

兵庫県：兵庫の酒米,

https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000025.html (2020年12月19日アクセス)

兵庫県酒造組合連合会：社酒造組合,

<https://hyogo-sake.or.jp/introduction/yashiro.html> (2020年12月19日アクセス)

JAみのり：やしらの桃直売マップ,

https://ja-minori.jp/?page_id=3275 (2020年12月19日アクセス)